

1 次の資料1～4 および A, B, C さん 3 人の会話文を読んで、以下の問いに答えなさい。

資料1 元の動向と、鎌倉幕府の対応

	執権	主な出来事と鎌倉幕府の対応
1260	北条長時	フビライ・ハンが皇帝となる
68		高麗の使いがフビライの手紙を届ける → 拒否
71		モンゴル帝国の使いが九州に来る → 拒否 モンゴル帝国が国号を元とする
73	(あ)	元の使いが大宰府に来る → 拒否
74		元軍が日本へせめてくる
76		幕府が博多湾の岸に石塁をつくる
81		元軍が再び日本へせめてくる
86	北条貞時	元軍が3度目の日本遠征を中止

※1268～1284年までの執権は(あ)がつとめた

※高麗…朝鮮半島にあった国で、モンゴル軍に降伏し、服属した

資料2 元軍の2度のしゅう来

年	元の軍勢	出来事
1274	3万2300人	10月20日、元軍が博多湾に上陸 その夜、暴風雨により元軍の船が多く沈没
1285	14万2000人	6月6日、幕府軍により元軍は博多に上陸できず 7月30日、暴風雨により元軍の船の多くが沈没

資料3 東寺百合文書(1297年)

御成敗式目を守り、地頭や御家人が買った土地のうち、売買から20年を過ぎた土地については、売り主は取り返してはならない。御家人以外や一般人が買った土地については、経過した年月に関係なく売り主は取り返すことができる。  
領地の質入や売買は、御家人たちの困窮の原因である。今後はいっさい禁止する。

※困窮…生活するお金に困ること 質入…代わりのものを差し出し、お金を借りること

資料4 北条氏一族がついた守護の数(カ国)

年代	守護の数
1199～	3
1221～	13
1285～	28

- A さん：<sup>げんこう</sup>元寇の資料ですね。
- B さん：鎌倉幕府の御家人たちは元軍をよく食い止めたと言いました。
- C さん：このときの執権は（ あ ）ですね。まだ若かったけど勇かんだったのでしょうか。
- B さん：学校で習ったことも大切だけど、資料を見ているといろいろな疑問もわきます。
- A さん：それはどんなことですか。
- B さん：資料 1 を見ると、はじめて使者が来てから実際に元軍がせめてくるまでに 6 年という月日があります。元の情報を集めることはしなかったのでしょうか。
- C さん：なるほど。もし敵の情報を知らずに戦うことを決めたのなら、それを勇かんと呼んでいいのかは疑問かもしれないですね。
- A さん：情報の点から見ると、戦いそのものについてもちがった見方が必要かも知れませんね。
- B さん：A さんは何に気づいたのですか。
- A さん：わたしたちは、学校で鎌倉幕府は苦しい戦いを何とか切りぬけたと言ったのですが、この資料 2 だけでは情報が不十分だと思います。
- B さん：どうしてですか。
- A さん：資料 2 からは、元軍が大軍だったことはわかるのですが、それに対する（ い ）は分からないからです。
- C さん：そうか、たしかにその情報はありませんね。相手側のことしかわからない中では、全体として有利だったか不利だったか判断ができません。
- B さん：資料 3 を読み直してみると、（ア）なぜこの命令が御家人の救済を目的にしていると考えられているのかよくわかります。
- C さん：そうですね。資料 3 を見ると、幕府が御家人たちを救おうとしていたことがはっきりします。ところで、資料 4 を見ると北条氏は一族が守護をつとめる国をどんどん増やしていますね。どうしてでしょうか。
- A さん：資料 4 によれば、（イ）北条氏が守護になった国は 1221 年と 1285 年にその数が大きく増えています。このあたりに何か手がかりがあるかもしれません。
- B さん：歴史は見る角度によって、さまざまにちがって見えてくるんですね。いろいろな資料を調べてみると、今までとはちがった見方ができるかもしれません。

問 1 文中と資料 1（ あ ）にあてはまる執権の名前を漢字で答えなさい。

問 2 資料 2 を読み、文中の（ い ）にあてはまる、この場合に適切と考えられる情報を次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- |                               |                |
|-------------------------------|----------------|
| ア 元軍の <sup>しんこう</sup> 侵攻したルート | イ 御家人たちの軍勢の規模  |
| ウ 元軍の使用した武器                   | エ 御家人たちの使用した武器 |

問 3 文中の下線部（ア）について、B さんがこのように考えた理由を資料 3 から読み取り、それを説明した次の文にあうように、（ う ）に文章をおぎないなさい。

御家人が土地を売った相手が

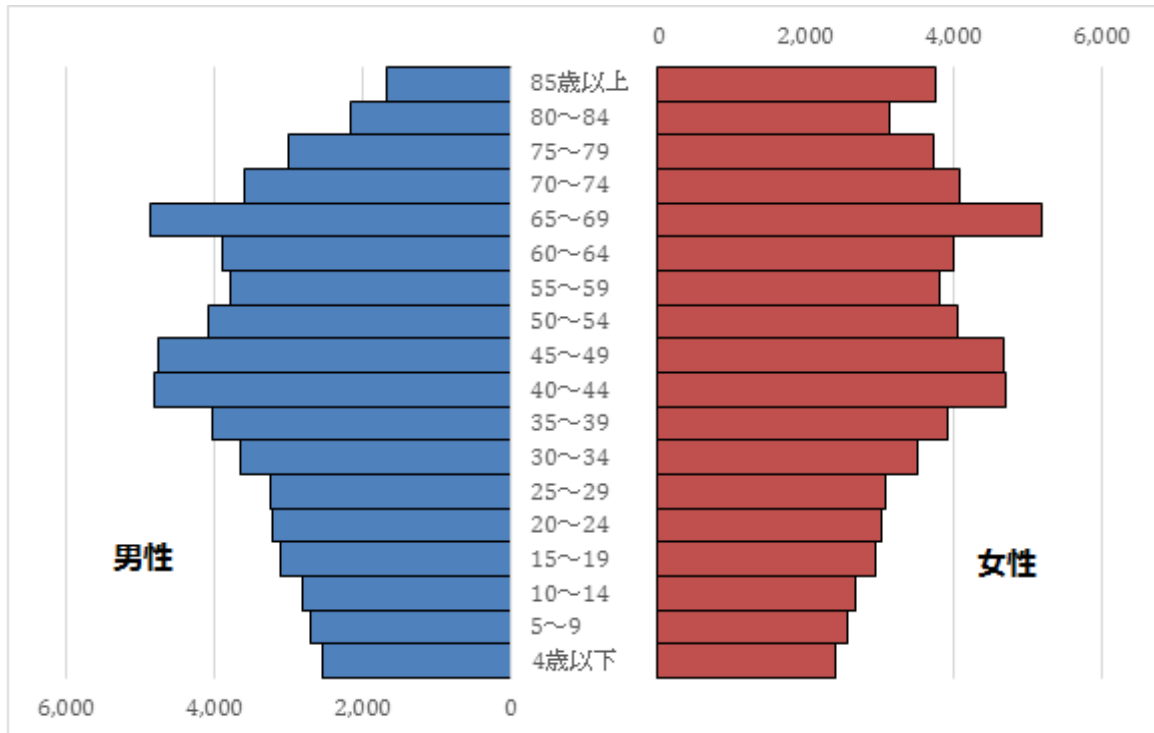
- ・地頭や御家人の場合…（ う ），土地を取りもどすことができる。
- ・御家人以外や一般人の場合…経過した年月に関係なく、土地を取りもどすことができる。

問 4 文中の下線部（イ）について、北条氏はこの 2 回の時期におきた出来事を利用して、一族が守護である国を増やす名目にしたと考えられます。どのような名目か、かんたんに説明しなさい。

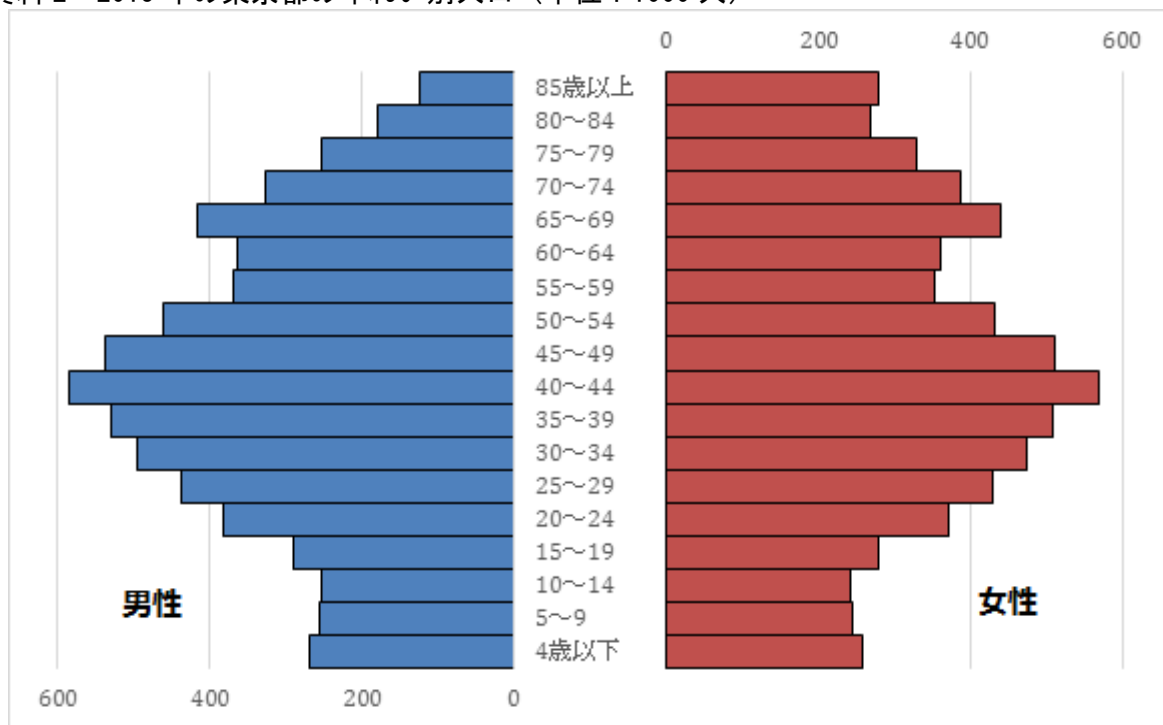
2 次の文章と資料1～5を読み、以下の問いに答えなさい。

日本の人口は、今後数十年で大きく変化することが予想されています。現在、日本では少子高齢化が続いていますが、そのスピードはかつてどの国も経験したことがないものです。(ア) 少子高齢化に加え、総人口の減少も始まっており、将来的には今までの社会のあり方を保つことはむずかしくなっていくことが考えられる中、(イ) 新しい社会のあり方をさがす動きが始まっています。

資料1 2015年の日本の年別人口（単位：1000人）



資料2 2015年の東京都の年別人口（単位：1000人）



資料3 都道府県別人口の推移（単位：1000人）

順位	2015年		2030年		2045年	
	全国	127,095	全国	119,125	全国	106,421
1	東京都	13,515	東京都	13,883	東京都	13,607
2	神奈川県	9,126	神奈川県	8,933	神奈川県	8,313
3	大阪府	8,839	大阪府	8,262	大阪府	7,335
4	愛知県	7,483	愛知県	7,359	愛知県	6,899
5	埼玉県	7,267	埼玉県	7,076	埼玉県	6,525
...	...		...		...	
43	福井県	787	福井県	710	山梨県	599
44	徳島県	756	徳島県	651	徳島県	535
45	高知県	728	島根県	615	島根県	529
46	島根県	694	高知県	614	高知県	498
47	鳥取県	573	鳥取県	516	鳥取県	449

資料4 2015年の65歳<sup>さい</sup>以上人口を100としたときの2045年の65歳以上人口の指数

<p>国立社会保障・人口問題研究所HPから作成した資料</p>
---------------------------------

資料5 2015年の都道府県別出生率

2015年出生率			
全国		1.46	
上位5県		下位5県	
沖縄	1.94	東京	1.17
島根	1.8	京都	1.26
宮崎	1.72	北海道	1.29
鳥取	1.69	宮城	1.31
熊本	1.68	大阪, 埼玉, 神奈川等	1.34

※出生率…1人の女性が一生に何人の子供を産むのかを推計したもの  
厚生労働省のHPより作成

問1 資料1～5があらわす内容として、次のア～エからまちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本の総人口は今後30年で減少していくが、東京都の人口は2030年時点では増加している。
- イ 出生率の高い都道府県と人口の多い都道府県には、直接の関係は見られない。
- ウ 鳥取県や高知県などは、2045年には人口の半数が65歳以上になっている。
- エ 東北や四国の過半数の県では、今後、高れい者のいちじるしい増加は見られない。

問2 文章中の下線部(ア)について、将来的に東京などの大都市では、少子高れい化の問題は地方都市よりもしんこくな社会問題になると考えられます。資料1～5をふまえ、その理由をかんたんに説明しなさい。

問3 文章中の下線部(イ)について、日本をはじめ世界では一般的に65歳以上の人を「高れい者」と定義していますが、医学的には根きよがあるわけではありません。医りょうの発達等により、健康で元気な高れい者も数多くいます。次に示した資料を見ると、現在、日本の高れい者(65歳以上)の人口の割合は28%ですが、高れい者と定義する年れいを75歳以上に引き上げると、この割合は半減することになります。このように高れい者になる年れいを引き上げることで、日本社会にはどのようなメリットが考えられますか。具体的に例をあげて、説明しなさい。

日本の年れい別人口の割合

<p>国立社会保障・人口問題研究所HPから作成した資料</p>
---------------------------------

白紙のページ

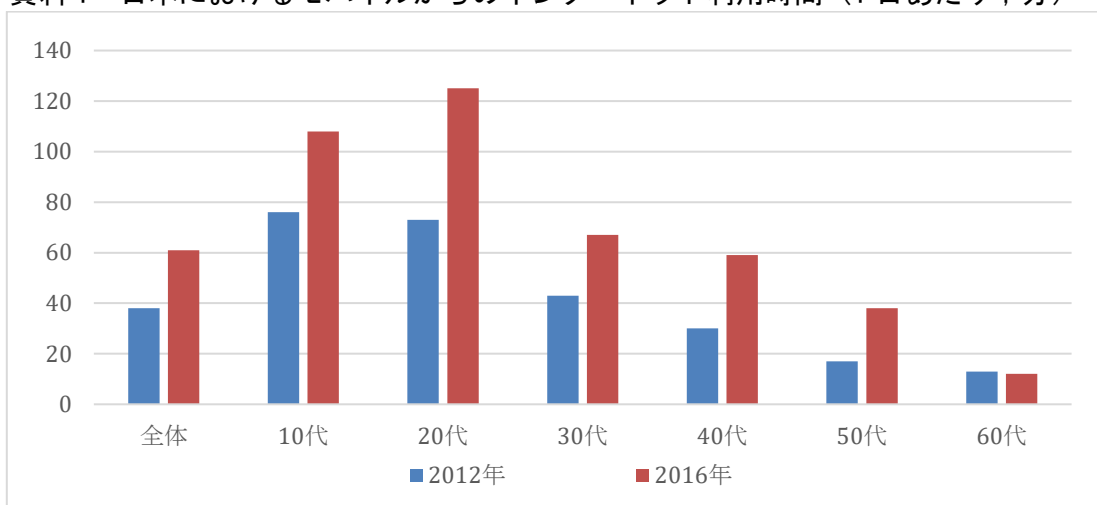
3 次の文章と資料1～2を読み、以下の問いに答えなさい。

今から12年前の2007年1月9日、アメリカでiPhone（アイフォーン）というスマートフォンが発表されました。スマートフォンはその後各社から発売され、世界を大きく変えました。現在では人々はスマートフォンを持ち運び、インターネットに接続してさまざまなサービスを受けています。

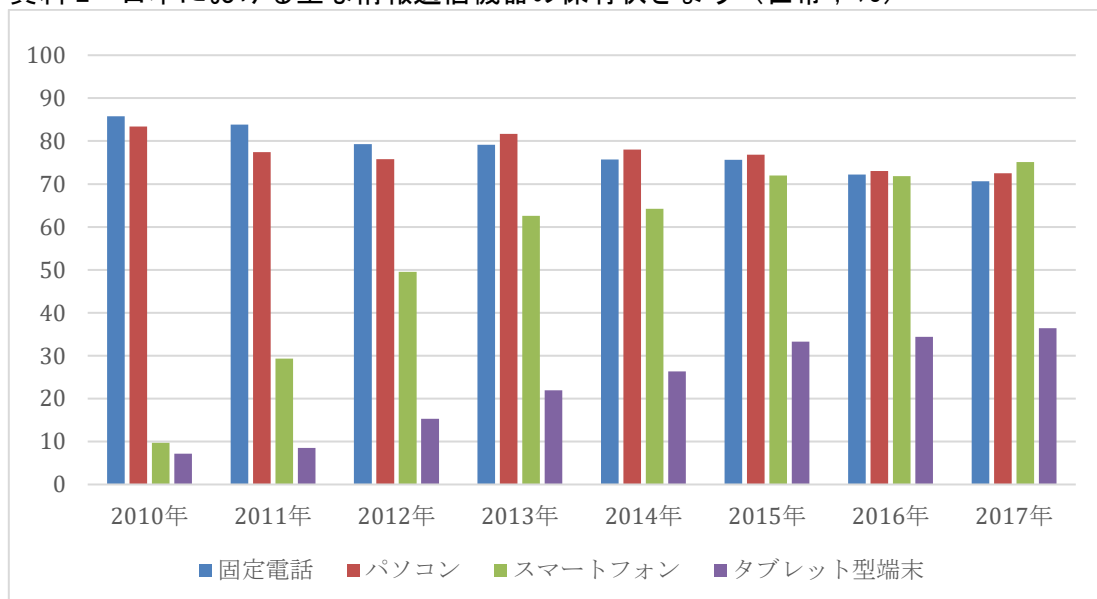
(ア) スマートフォンなど電子機器の進化にともない、生活のありかたも変わりました。現在の移動通信システムは4Gと呼ばれます。この通信システムによって、わたしたちは手元のスマートフォンなどで手軽に写真や動画を楽しむようになりました。

(イ) 2020年に始まる移動通信システムは5Gと呼ばれ、4Gよりも多くのデータが超高速で遅れることなく多数の人々へ同時に配信できます。その結果、映像や音はもちろん、他の機器と組み合わせることで、しゅっ覚やきゅう覚、味覚なども再現できるようになるでしょう。このようなテクノロジーの進歩が(ウ) わたしたちの生活を大きく変えていくことはまちがいありません。

資料1 日本におけるモバイルからのインターネット利用時間（1日あたり；分）



資料2 日本における主な情報通信機器の保有状況（世帯；％）



※資料1、2とも総務省「平成29年通信利用動向調査」より作成  
※モバイルとは、ここではスマートフォンやスマートフォンをのぞく携帯電話とを合わせたもの

問1 文章中の下線部（ア）について、資料 1～2 があらわす内容として、次のア～エからまちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。

ア 日本では、60代をのぞくすべての年代でモバイルによるインターネットの利用時間が2012年に比べて増加している。

イ 日本では、2017年の時点でスマートフォンの保有率がパソコンを初めてこえた。

ウ 日本では、タブレット型端末が2010年以来、年々普及<sup>ふきゅう</sup>してきている。

エ 日本では、年代が下がるほどモバイルによるインターネット利用時間が長い。

問2 文章中の下線部（イ）について、2020年以降の地球温暖化対策を定めたパリ協定により、ヨーロッパを中心に世界各国で化石燃料や原子力にたよらない「脱炭素社会」の実現<sup>だつ</sup>に向けて努力が続けられています。日本でも二酸化炭素を排出<sup>はいしゅつ</sup>しない電気自動車の開発が進んでいますが、現在の日本で化石燃料を用いる車がすべて電気自動車におき変わっても、電気自動車が走っているかぎり二酸化炭素の排出量はゼロにはなりません。その理由を説明しなさい。

問3 文章中の下線部（ウ）について、5Gのテクノロジーはさまざまな可能性をひめています。たとえば自動運転を実現するには、車がすべてインターネットに接続し、そのとき走っている他の車の情報を少しの遅れもなくキャッチすることが必要ですが、5Gはこの課題を解決することができます。5Gのテクノロジーを使って現在の世界で見られる課題を解決する方法を考え、提案しなさい。



白紙のページ

白紙のページ